2020年度 授業シラバスの詳細内容

〇基本情報						
科目名(英)	環境情報学特別演習 I(Environmental Information Engineering Seminar I)					
ナンバリングコード	R30401	大 分類 / 難易度 環境情報学専攻 / 応用レベル 科目分野				
単位数	2	配当学年/開講期	1 年 / 通年			
必修•選択区分	必修					
授業コード	M001103	クラス名	坂井研究室			
担当教員名	坂井 美穂					
履修上の注意、 履修条件	なし 特別演習は指導を受けるときだけでなく、普段からの取り組みが重要です。しっかりと取り組んで下 さい。					
教科書	資料を配布します。					
参考文献及び指定図 書	講義中に指定します。					
関連科目	環境情報学特別演習Ⅱ、環境情報学特別研究					

〇授業の目的・概要等	○授業の目的・概要等						
授業の目的	本学の教育理念「産学一致」「人間力の育成」「社会・地域貢献」のもとに、学部教育で得た学識を基盤として、独創的、応用的、先端的な研究能力および専門能力の修得し、卒業研究での取組みで学んだ内容を工学研究科の院生として相応しいレベルとして社会で利活用できるようになることを目的とします。そのために、実際に着手する研究を円滑に遂行することを目的に多方面から議論します。繰り返し、議論を行うことにより、自発的、創造的に研究を切り開いていくためのヒントを得ること、および、卒業研究で培った「工学的アプローチ」のスキルアップを目指します。						
授業の概要	研究手法や得られた結果に関して議論します。 必要に応じて研究論文調査を適宜行い、今後の研究方針等を議論します。 修士研究のまとめ方やデータの解析に関しても指導を行います。 なお、課題返却、解説については毎回の講義内で指導していきます。						
	(1)授業の形式	「演習等形式」					
授業の運営方法	(2)複数担当の場合の方式	「該当しない」					
	(3)アクティブ・ラーニング	対話・議論型授業(グループディスカッション・ディベート) 他					
地域志向科目	該当しない						
実務経験のある教員による授業科目	該当しない						

〇成績評価の指標	〇成績評価基準(合計100点)			
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中 間確認等)	提出物 (レポート・作 品等)	無形成果 (発表・その 他)
【関心・意欲・態度】	課題, 講義における発表の準備を毎回欠かすことなくできる。 積極的に発言・質問できる。		15点	10点
【知識·理解】	取り組む研究の背景,位置づけ,目的を理解している。		15点	10点
【技能・表現・コミュニケーション】	分かりやすい資料作成や発表ができる。		15点	10点
【思考·判断·創造】	目的を達成するような実験を実現できる。 必要に応じて研究内容を微調整できる。		15点	10点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レボート等の学習成果・課題のフィードバック方法) 最終レポートの提出及びプレゼンテーションでの中間および総括での口頭発表を課し、その合計点で評価を決定する [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。(合計点90点以上)

[Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。(合計点80点以上)

[Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。(合計点70点以上)

[Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。(合計点60点以上)

〇その他

* 口頭発表およびレポート等の学習成果・フィードバック方法について

最終発表まで改善点等を講義中に説明を行い、基準点(60点以上/100点・レポート)に達成するよう、繰り返し指導を行 い、最後に完成したレポートを提出をしてもらいます。

また、講義中に、課題に関するディスカッションを行い、理解が定着しているか確認を行います。

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画 科 目 名 : 環境情報学特別演習 I (Environmental Information Engineeri 授業コード:M	M001103 〇授業計	幹計画 科目名:環境情報学特別演習 I(Environmental Information Engineeri 授業コード: M001103
ジャー - 	学修内容	担当教員: 収升 実徳
・ 2007	9. 他都	・ 他研究の調査 野の研究論文について調査を行い、その結果と内容について報告することで、研究分野の現状および課題について理
	解するこ 	ることを目的とします。これまで調査した内容について総まとめを行います。
復習:調査テーマに関し、論文を調査します。	(約2.0h) 復	予習: 指定されたテーマについて論文調査を行い、論文を読むことで現状について把握します。 (約2.0h) 復習: 現状について把握します。 (約2.0h)
2. 実験テーマについて -ーマに基づいた研究分野の現状について説明します。研究分野の現状から解決すべき課題について考察を行い		実験について してきたテーマに関する実験の準備状況や問題点について議論し、問題点を明らかにします。
復習: 現状把握および解決すべき課題やその手法について一覧表にまとめる等、レポートを作成します。	(約2.0h) 復	予習: 明らかにしたい課題を設定し、その予備検討を行います (約2.0h) 復習: 予備検討のデータを解析し、レポートを作成します。 (約2.0h)
3. 他研究の調査 司分野の研究論文について調査を行い、その結果と内容について報告することで、研究分野の現状および課題に 解することを目的とします。		実験について してきたテーマに関する実験の準備状況や問題点について議論し、問題点を明らかにします。
		予習 : 明らかにしたい課題を設定し、その予備検討を行います (約2.0h) 復習 : 予備検討のデータを解析し、レポートを作成します。 (約2.0h)
4. 他研究の調査 司分野の研究論文について調査を行い、その結果と内容について報告することで、研究分野の現状および課題に 解することを目的とします。	12. 実	実験について してきたテーマに関する実験の準備状況や問題点について議論し、問題点を明らかにします。
	(約2.0h) 復	予習: 予備検討から得られた結果をもとに本検討を行います。 (約2.0h) 復習: 本検討のデータを解析し、レポートを作成します (約2.0h) 実験について
司分野の研究論文について調査を行い、その結果と内容について報告することで、研究分野の現状および課題に なずることを目的とします。		てきたテーマに関する実験の準備状況や問題点について議論し、問題点を明らかにします。
		予習: 種々の検討から得られた結果をもとに本検討の継続を行います。 (約2.0h) 復習: 本検討のデータを解析し、レポートを作成します (約2.0h)
6. 他研究の調査 引分野の研究論文について調査を行い、その結果と内容について報告することで、研究分野の現状および課題にで なすることを目的とします。		実験について してきたテーマに関する実験の準備状況や問題点について議論し、問題点を明らかにします。
復習: 現状把握および解決すべき課題やその手法について一覧表にまとめる等、レポートを作成します。	(約2.0h) 復	予習: 種々の検討から得られた結果をもとに本検討の継続を行います。 (約2.0h) 復習: 本検討のデータを解析し、レポートを作成します (約2.0h)
7.他研究の調査 引分野の研究論文について調査を行い、その結果と内容について報告することで、研究分野の現状および課題に 翼することを目的とします。		実験について してきたテーマに関する実験の準備状況や問題点について議論し、問題点を明らかにします。
復習: 現状把握および解決すべき課題やその手法について一覧表にまとめる等、レポートを作成します。	(約2.0h) 復	予習: 種々の検討から得られた結果をもとに本検討の継続を行います。 (約2.0h) 復習: (約2.0h)
8. 他研究の調査 引分野の研究論文について調査を行い、その結果と内容について報告することで、研究分野の現状および課題にて なすることを目的とします。		実験について してきたテーマに関する実験の準備状況や問題点について議論し、問題点を明らかにします。
		予習 : 種々の検討から得られた結果をもとに本検討の継続を行います。 (約2.0h) 復習 : 本検討のデータを解析し、レポートを作成します (約2.0h)

2020年度 授業シラバスの詳細内容

〇授業計画	科 目 名 : 環境情報学特別演習 I (Environmental Information Engineeri 授業コート 担当教員: 坂井 美穂	F:M001103	〇授業計画	科 目 名:環境情報学特別演習 I(Envir 担当教員: 坂井 美穂	ronmental Information Engineeri 授業コ	ı—ド: M001103
学修内容			学修内容			
	主の研究や実験結果を踏まえ、実験進捗状況について発表してもらいます。 の問題点等の気づきを促し、後半の実験について再検討を行います。		25. 実験について 調査してきたテーマ	て に関する実験の準備状況や問題点について議論	まし、問題点を明らかにします。	
復習: プレゼンB 18. 他研究の調査	:ついて調査を行い、その結果と内容について報告することで、研究分野の現状および課題	(約2.0h) (約2.0h)	復習: 本検討(26. 実験について	検討から得られた結果をもとに本検討の継続を行いまのデータを解析し、レポートを作成します こ に関する実験の準備状況や問題点について議論		(約2.0h) (約2.0h)
復習: 現状把握 19. 他研究の調査	:ついて調査を行い、その結果と内容について報告することで、研究分野の現状および課題	(約2.0h) (約2.0h) 【について理	復習: 本検討(27. 実験について	検討から得られた結果をもとに本検討の継続を行いま のデータを解析し、レポートを作成します こ に関する実験の準備状況や問題点について議論		(約2.0h) (約2.0h)
復習: 現状把握 20. 実験について	たテーマについて論文調査を行い、論文を読むことで現状について把握します。 および解決すべき課題やその手法について一覧表にまとめる等、レポートを作成します。 に関する実験の準備状況や問題点について議論し、問題点を明らかにします。	(約2.0h) (約2.0h)	復習: 本検討(28. 実験について	検討から得られた結果をもとに本検討の継続を行いまのデータを解析し、レポートを作成します こ に関する実験の準備状況や問題点について議論		(約2.0h) (約2.0h)
復習: 本検討の 21. 実験について	計から得られた結果をもとに本検討の継続を行います。 データを解析し、レポートを作成します こ関する実験の準備状況や問題点について議論し、問題点を明らかにします。	(約2.0h) (約2.0h)	復習: 本検討(29. 実験について	検討から得られた結果をもとに本検討の継続を行いまのデータを解析し、レポートを作成します こ に関する実験の準備状況や問題点について議論		(約2.0h) (約2.0h)
復習: 本検討の 22. 実験について	討から得られた結果をもとに本検討の継続を行います。 データを解析し、レポートを作成します □関する実験の準備状況や問題点について議論し、問題点を明らかにします。	(約2.0h) (約2.0h)	復習: 本検討(30. 総括	検討から得られた結果をもとに本検討の継続を行いま のデータを解析し、レポートを作成します 「往の研究や実験結果を踏まえ、本研究の位置付		(約2.0h) (約2.0h) :してもらいま
復習: 本検討の 23. 実験について	討から得られた結果をもとに本検討の継続を行います。 データを解析し、レポートを作成します ニ関する実験の準備状況や問題点について議論し、問題点を明らかにします。	(約2.0h) (約2.0h)	予習: 既往のそ	研究や実験結果を踏まえ、本研究の位置付けや特徴. ν時に質問された事項について再検討、再調査、再分析		(約2.0h) (約2.0h)
復習: 本検討の 24. 実験について	計から得られた結果をもとに本検討の継続を行います。 データを解析し、レポートを作成します こ関する実験の準備状況や問題点について議論し、問題点を明らかにします。	(約2.0h) (約2.0h)	予習: 復習: 32.			(約2.0h) (約2.0h)
	討から得られた結果をもとに本検討の継続を行います。 データを解析し、レポートを作成します	(約2.0h) (約2.0h)	予習: 復習:			